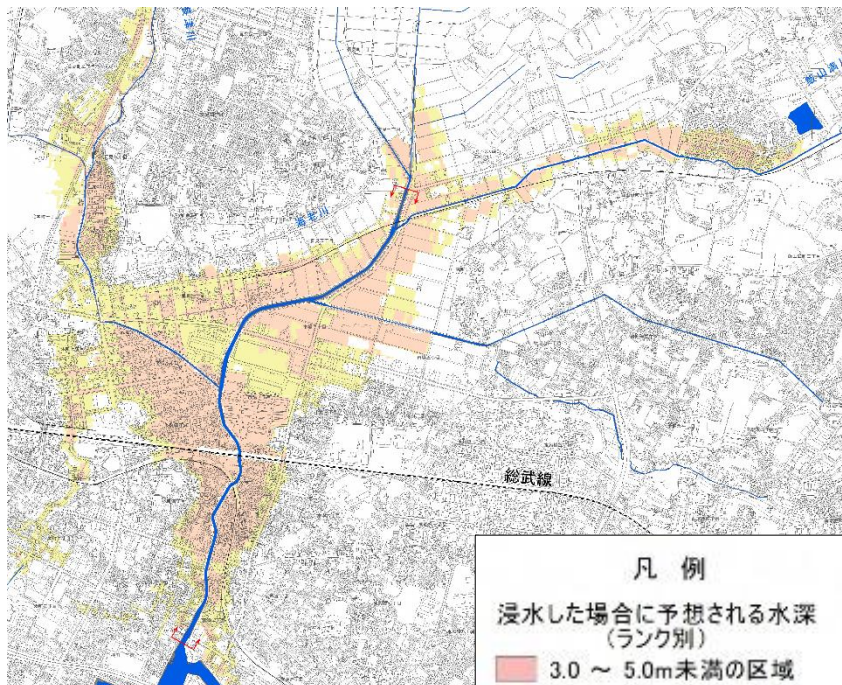


6. 解析結果

～計画規模の降雨の比較～

①土地区画整理事業前の浸水想定区域図



作成主体 千葉県
指定年月日 令和元年12月23日より引用

②土地区画整理事業後の浸水予想区域図

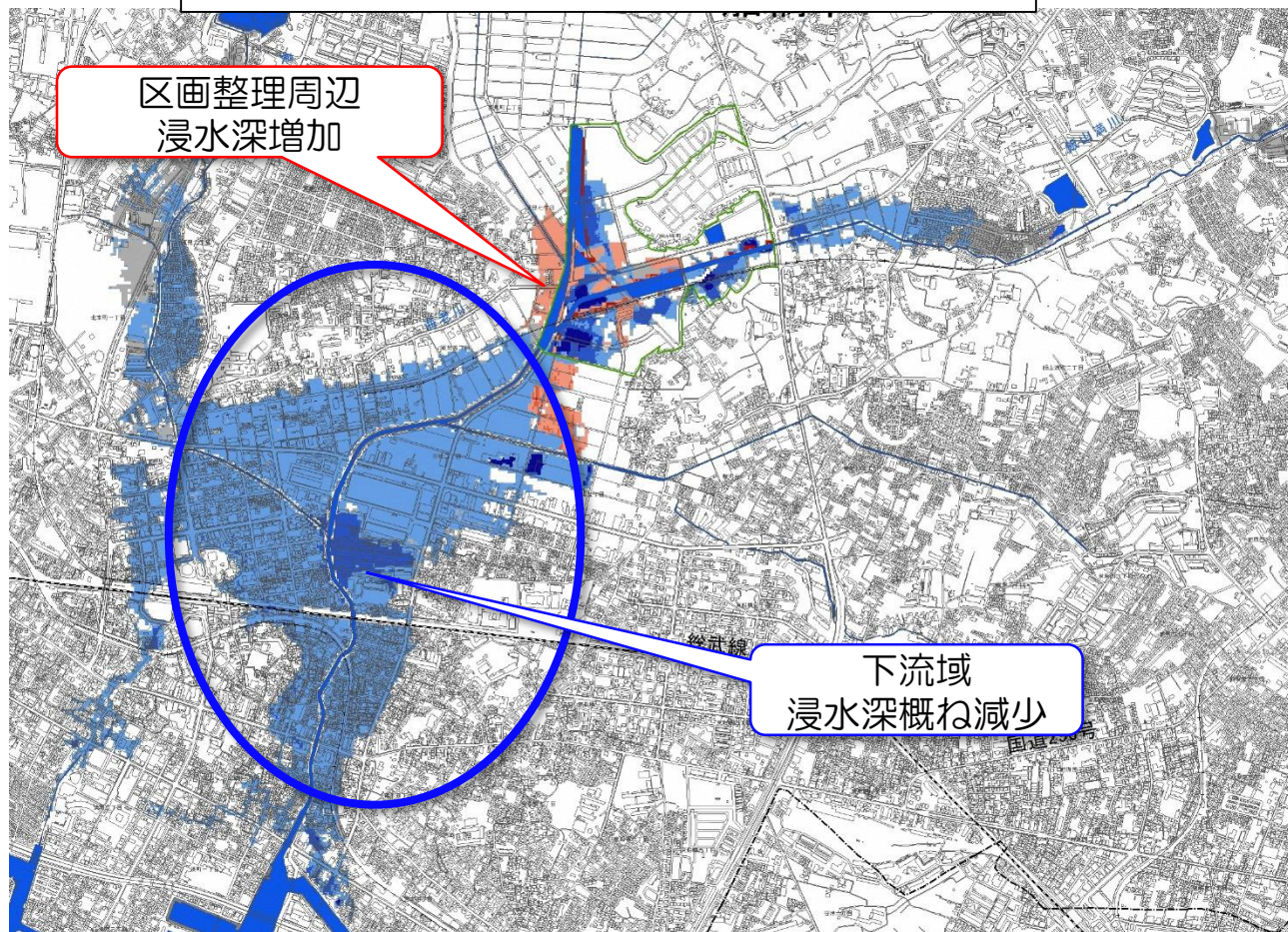


今回実施

6. 解析結果

～計画規模の降雨の比較～

土地区画整理事業前後の浸水深さの変化量



浸水深変化量(m)
予想区域図—想定区域図





7. まとめ

- 高頻度の降雨における土地区画整理事業による治水への影響は、浸水シミュレーションによると、概ね浸水深が減少しています。
- 想定最大規模や計画規模の降雨における土地区画整理事業による治水への影響は、浸水シミュレーションによると、下流域では浸水深が概ね減少しています。土地区画整理事業の周辺では浸水深が増加しているエリアがあることから、土地区画整理組合と協議を続けてまいります。



7. まとめ

- 市としては、「令和4年1月に開催された千葉県都市計画審議会で付された意見」に基づき、
<海老川流域の治水への影響に関する検討を続け>
➡令和4年2月からシミュレーションを実施
<住民に対し御理解いただけるよう丁寧に説明を重ね>
➡令和4年5月と8月に各6回、住民説明会を実施
- 今後も丁寧に説明を重ねていく